

坂本知昭：“展望とトピックス，新技術・新素材 分光センシング技術を用いた医薬品原薬フロー合成工程のリアルタイム解析手法の開発”，日本分析化学会編，東京，pp.29（2023）

原園景，柴田寛子，石井明子：“キャピラリー電気泳動法・イオンクロマトグラフィーの分析テクニク”，第4章 CEによるバイオ医薬品での分析事例，第1節 タンパク質医薬の不均一性の分析，技術情報協会，東京（2023）

石井明子，斎藤嘉朗：“バイオシミラー～臨床から導入マネジメント”，第6章バイオシミラーに関する国際的動向，薬事日報社，p.82-88（2024）

澤田留美：“遺伝子治療用製品の開発・申請戦略＜承認取得に向けた規制対応と品質及び安全性の確保＞”，第11章第1節 再生医療等製品における市販後の安全対策について，サイエンス&テクノロジー（株），東京，pp.199-208（2023）

内田恵理子：“遺伝子治療開発研究ハンドブック 第2版”，第4編 第3章 第1節 遺伝子組換え生物の取扱い，（一社）日本遺伝子細胞治療学会編集，（株）エヌ・ティー・エス，東京，pp.639-944（2023）

山下拓真，山本武範，内田恵理子，井上貴雄：“ゲノム編集の最新技術と医薬品・遺伝子治療・農業・水畜産物・有用物質生産への活用”，第3章 第1節 ゲノム編集技術を用いた遺伝子治療用製品により生じるオフターゲット変異を予測・検出する技術，（株）技術情報協会，東京，pp.125-135（2023）

内田恵理子，山下拓真，山本武範，井上貴雄：“遺伝子治療用製品の開発・申請戦略＜承認取得に向けた規制対応と品質及び安全性の確保＞”，第1章 第1節 遺伝子治療用製品に関する規制要件と開発動向，（株）サイエンス&テクノロジー，東京，pp.3-24（2023）

山本武範，山下拓真，内田恵理子，井上貴雄：“遺伝子治療用製品の開発・申請戦略＜承認取得に向けた規制対応と品質及び安全性の確保＞”，第2章 遺伝子治療用製品・遺伝子導入／改変細胞製品の品質・安全性に関する海外規制の最新動向，（株）サイエンス&テクノロジー，東京，pp.39-62（2023）

山下拓真，山本武範，内田恵理子，井上貴雄：“遺伝子治療用製品の開発・申請戦略＜承認取得に向けた規制対応と品質及び安全性の確保＞”，第13章 ゲノム編集技術の研究開発動向－医療応用に向けた動き－，（株）サイエンス&テクノロジー，東京，pp.249-268（2023）

加藤玲子：動物実験代替法とNew Approach Methodologiesの開発・利用動向，第Ⅲ編第2章 再構築ヒト表皮モデルを用いた刺激性評価，（株）シーエムシー出版，東京，pp.94-100（2023）

宮島敦子：動物実験代替法とNew Approach Methodologiesの開発・利用動向，第Ⅲ編第3章 代替法を用いた皮膚感作性評価，（株）シーエムシー出版，東京，pp.101-108（2023）

酒井信夫：“衛生試験法・注解2020 追補2024”，4.4 空気試験法 4.4.5 有機物質 13) 揮発性有機化合物（4）総揮発性有機化合物（新規），（公社）日本薬学会環境・衛生部会，東京，pp.8-12（2024）

酒井信夫：“衛生試験法・注解2020 追補2024”，4.4 空気試験法 4.4.5 有機物質 22) フタル酸ジ-n-ブチルおよびフタル酸ジ-2-エチルヘキシル（2）固相吸着－加熱脱離－ガスクロマトグラフィー／質量分析法による定量（新規），（公社）日本薬学会環境・衛生部会，東京，pp.13-17（2024）

田原麻衣子：“キャピラリー電気泳動法・イオンクロマトグラフィーの分析テクニク”，第4節 ICを用いた家庭用洗浄剤および除菌剤中の酸およびアルカリ等のイオン種の分析，技術情報協会編集，技術情報協会，東京，pp.358-365（2023）

坂井隆敏：“決定版質量分析活用スタンダード”，実践編Ⅲ 検査・材料・無機，1 食品・環境の検査 食品・環境の検査における分析，（株）羊土社，東京，pp.225-228（2023）

建部千絵，多田敦子：“不純物の分析法と化学物質の取り扱い” 第2章 食品中に含まれる不純物分析の手順・実例 第5節 NMRによる食用色素の不純物に関する研究，技術情報協会，東京，pp.173-182（2024）

増本直子，西崎雄三：“不純物の分析法と化学物質の取り扱い” 第2章 食品中に含まれる不純物分析の手順・

実例 第6節 RMS法による天然物由来製品の品質評価, 技術情報協会, 東京, pp.183-192 (2024)

六鹿元雄, 阿部裕, 尾崎麻子*: “加速試験の実施とモデルを活用した製品寿命予測” 第9章 新しい加速試験の開発, 精度向上と寿命推定法 第16節 合成樹脂製食品用器具・容器包装の溶出試験における加速試験条件の適用, 技術情報協会, 東京, pp.490-500 (2023)

* (地独) 大阪健康安全基盤研究所

渡辺麻衣子: “室内環境の事典—快適で健康な暮らしを支える科学”, 第2章 生物・微生物 2-15 マイコトキシン, (一社) 室内環境学会編集, (株) 朝倉書店, 東京, pp.68-69 (2023)

登田美桜: “食品衛生学 改訂第3版”, 2章6項 食品成分の変化により生じる有害物質, 田崎達明編, (株) 羊土社, 東京, pp.56-60 (2024)

斎藤嘉朗, 佐井君江: “バイオシミラー—臨床から導入マネジメント”, 第4部第1章, “バイオシミラー導入・処方における課題等—医師千人のアンケート調査から—”, 薬事日報社, pp.206-212 (2024)

佐井君江: “医薬品情報の表現に関する動向”, ヘルスデータサイエンス入門—医療・健康データの活用を目指して—, 手良向聡, 山本景一, 河野健一編, (株) 朝倉書店, 東京, pp.147-151 (2023)

菅野純, 相崎健一, 北嶋聡: “化学物質の複合影響と健康リスク評価”, 第2章 複合曝露による毒性の評価手法, 第1節 遺伝子発現を指標とした毒性評価・予測, 医歯薬出版 (株), 東京, pp.67-81 (2024)

Furuhama A, Kasamatsu T, Sugiyama K, Honma M: Curation of more than 10,000 Ames test data used in the Ames/QSAR International Challenge Projects. In: Hong H, editor. QSAR in Safety Evaluation and Risk Assessment: Academic Press, pp.365-372. doi: 10.1016/B978-0-443-15339-6.00022-91 (2023).

山田隆志: “動物実験代替法とNew Approach Methodologiesの開発・利用動向”, 第I編 第2章 Next Generation Risk Assessmentの現状と行政利用へ向けた課題, 監修: 小島肇夫, (株) シーエムシー出版, 東京, pp.7-13 (2023)